



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 藤倉コンポジット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5121 URL https://www.fujikuracomposites.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 森田 健司
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長(氏名) 植松 克夫 (TEL) 03-3527-8111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,884	△12.5	533	△41.1	750	△18.1	506	4.8
2020年3月期第3四半期	23,879	△4.2	905	2.6	915	△0.1	483	△21.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,104百万円(269.2%) 2020年3月期第3四半期 299百万円(140.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	21.64	—
2020年3月期第3四半期	20.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	34,560	24,636	71.3
2020年3月期	35,626	23,813	66.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 24,636百万円 2020年3月期 23,813百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2021年3月期	—	5.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	7.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,900	△9.7	800	△10.3	1,100	32.0	700	79.1	29.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 有
新規 - 社（社名） - 、除外 1 社（社名）藤栄産業株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	23,446,209株	2020年3月期	23,446,209株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	49,537株	2020年3月期	49,445株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	23,396,695株	2020年3月期3Q	23,396,804株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の急速な停滞の影響を受け、極めて厳しい状況となったものの、一時は持ち直しの動きも見られました。しかし、2020年11月以降に感染症の再拡大が見られ、先行きについては不透明なまま推移しております。個人消費につきましても、一時は持ち直しの兆候が見られましたが、感染症再拡大の兆しにより回復にはさらに時間を要すると考えられます。今後は感染症収束の長期化で景気回復は緩やかな推移となり、感染症発生前の水準への回復は業種・業態や地域ごとに時期に差が生じると考えられます。

当社グループでは、2020年4月に組織体制を本部制から事業部制に変更し、事業の縦軸を強化し事業の拡充及び事業損益の追求に努めております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は208億8千4百万円（前年同四半期比12.5%減）、営業利益は5億3千3百万円（前年同四半期比41.1%減）、経常利益は7億5千万円（前年同四半期比18.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<産業用資材>

工業用品部門は、住宅機器関連は堅調に推移しました。自動車関連部品は、上期受注が低迷したことで厳しい見通しとなりましたが、中国・北米市場が牽引し回復基調となりました。ただし、コロナ禍の影響が残るASEAN地域が停滞するなど回復途上であり、全体では減収減益となりました。制御機器部門は、半導体・液晶市場の設備投資が好調を維持し、また、医療市場も堅調に推移し増収増益となりました。

この結果、売上高は136億8千5百万円（前年同期比10.7%減）、営業利益は1億7百万円（前年同期比78.8%減）となりました。

<引布加工品>

引布部門は、第3四半期に入り自動車市場の回復で関連製品の受注が好調なもの、電子関連部品の需要が低迷し減収減益となりました。印刷材料部門は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を世界的に受け減収減益となりました。加工品部門は、救命設備など海外向け舶用品の売上は増加したものの、国内船用市場での販売低調が影響し、減収減益となりました。

この結果、売上高は29億6千3百万円（前年同期比20.2%減）、営業損失は2千2百万円（前年同期は営業利益1億1千6百万円）となりました。

<スポーツ用品>

ゴルフ用カーボンシャフト部門は、2020年7月以降、コロナ禍においてゴルフ市場が大きく回復し始め、さらに北米モデル『VENTUS』と日本モデル『Speeder EVOLUTION VII』が多くのプロゴルファーに使用されることにより自社ブランド商品の販売が好調に推移し、高い市場シェアを維持した事により増収増益となりました。アウトドア用品部門は、秋のハイキングシーズンに入り市場に回復の兆しが見られましたが、2020年11月には感染再拡大で行動自粛が求められるに至り、減収減益となりました。

この結果、売上高は39億6千万円（前年同期比12.7%減）、営業利益は8億2千7百万円（前年同期比35.0%増）となりました。

<その他>

物流部門は、倉庫関係の運用は堅調でした。運送部門は第3四半期に入り回復傾向にあったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく減収減益となりました。

この結果、売上高は2億7千3百万円（前年同期比7.8%減）、営業利益は5千6百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億6千6百万円減少の345億6千万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ18億8千9百万円減少の99億2千3百万円となりました。純資産につきましては、246億3千6百万円となり、これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の66.8%から71.3%に上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月12日に公表いたしました通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日開示いたしました「2021年3月期通期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,528,810	5,663,531
受取手形及び売掛金	9,390,399	8,982,194
商品及び製品	2,236,807	2,069,196
仕掛品	2,376,408	2,361,790
原材料及び貯蔵品	700,226	663,173
その他	628,188	494,262
貸倒引当金	△59,512	△63,843
流動資産合計	20,801,328	20,170,305
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,316,716	5,006,093
機械装置及び運搬具（純額）	3,297,352	3,205,026
土地	3,215,856	3,196,817
建設仮勘定	131,590	232,096
その他（純額）	945,309	737,498
有形固定資産合計	12,906,825	12,377,532
無形固定資産		
ソフトウェア	145,066	119,258
その他	29,580	27,869
無形固定資産合計	174,646	147,128
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,981,979	3,084,271
貸倒引当金	△1,238,379	△1,218,982
投資その他の資産合計	1,743,599	1,865,289
固定資産合計	14,825,071	14,389,950
資産合計	35,626,400	34,560,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,131,420	1,840,196
短期借入金	3,886,890	3,417,872
未払法人税等	75,859	79,450
賞与引当金	443,227	167,257
その他	2,242,360	1,771,778
流動負債合計	8,779,758	7,276,554
固定負債		
長期借入金	1,415,000	987,500
繰延税金負債	302,199	403,744
環境対策引当金	29,513	29,513
退職給付に係る負債	1,004,245	970,614
資産除去債務	151,433	149,270
その他	130,808	106,361
固定負債合計	3,033,200	2,647,003
負債合計	11,812,958	9,923,558
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,804,298	3,804,298
資本剰余金	3,212,485	3,212,485
利益剰余金	16,774,056	16,999,529
自己株式	△20,438	△20,473
株主資本合計	23,770,401	23,995,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	165,436	268,460
為替換算調整勘定	120,302	584,863
退職給付に係る調整累計額	△242,699	△212,466
その他の包括利益累計額合計	43,040	640,857
純資産合計	23,813,441	24,636,697
負債純資産合計	35,626,400	34,560,255

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	23,879,302	20,884,296
売上原価	18,123,015	16,084,292
売上総利益	5,756,286	4,800,003
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	366,859	344,730
給料及び手当	1,593,675	1,491,354
賞与引当金繰入額	30,219	22,739
退職給付費用	56,744	63,475
減価償却費	119,570	119,106
研究開発費	598,393	490,018
その他	2,085,412	1,735,375
販売費及び一般管理費合計	4,850,875	4,266,800
営業利益	905,410	533,203
営業外収益		
受取利息	6,127	15,217
受取配当金	42,223	35,406
受取賃貸料	42,604	40,778
補助金収入	6,379	77,683
債務取崩益	—	61,377
その他	60,017	108,303
営業外収益合計	157,353	338,767
営業外費用		
支払利息	11,023	13,058
為替差損	62,707	63,604
賃貸収入原価	6,832	7,069
固定資産除却損	3,948	—
貸倒引当金繰入額	12,544	—
その他	49,770	37,942
営業外費用合計	146,827	121,675
経常利益	915,937	750,295
特別利益		
補助金収入	1,173	—
特別利益合計	1,173	—
特別損失		
固定資産除却損	10,592	19,093
特別調査費用等	231,119	—
特別損失合計	241,712	19,093
税金等調整前四半期純利益	675,397	731,202
法人税、住民税及び事業税	164,632	161,393
法人税等調整額	27,512	63,574
法人税等合計	192,145	224,968
四半期純利益	483,251	506,233
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	483,251	506,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,605	103,024
為替換算調整勘定	△240,190	464,560
退職給付に係る調整額	18,351	30,232
その他の包括利益合計	△184,233	597,817
四半期包括利益	299,018	1,104,051
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299,018	1,104,051

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	15,333,642	3,714,169	4,534,667	296,822	23,879,302	—	23,879,302
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	83,068	83,068	△83,068	—
計	15,333,642	3,714,169	4,534,667	379,890	23,962,370	△83,068	23,879,302
セグメント利益	506,141	116,772	612,859	65,755	1,301,528	△396,117	905,410

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去320千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△396,438千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注)2
	産業用資材	引布加工品	スポーツ 用品	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	13,685,893	2,963,824	3,960,911	273,667	20,884,296	—	20,884,296
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	77,188	77,188	△77,188	—
計	13,685,893	2,963,824	3,960,911	350,855	20,961,484	△77,188	20,884,296
セグメント利益又は損 失(△)	107,111	△22,807	827,521	56,704	968,529	△435,326	533,203

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去427千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△435,753千円が含まれています。全社費用は、主に当社の総務部門、人事部門、経理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。